

自然災害からくらしを守る

本単元で育成する資質・能力

主体性

論理的思考力・表現力

感謝・貢献

- 1 日時 令和3年9月7日(火) 6校時
 2 学年・学級 4年1組
 男子3名 女子4名 計7名

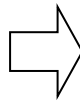
3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、3年前の西日本豪雨災害の被災を経験しており、災害時には、様々な人の助けがあったことは理解しているが、関係諸機関が連携していることへの理解は不十分である。

4年生になり、浄水場やごみの処理について学習することで、様々な人の願いや工夫が社会をより豊かにし、自分たちの生活を支えてくれていることを学習した。また、様々な課題がある中で、自分たちにも何か取り組めることはないか考えることで、社会に参画しようという意識が育ちつつある。

授業に対しては、興味をもって取り組んでおり、提示する資料に対して興味をもって読み取ったり、新しいことを知りたいという意欲をもって話を聞いたりしている。しかし、ノートなどに調べたことや考えたことを自分でまとめることは苦手としている。また、よい考えをもっているが発言に消極的な児童もおり、話し合いで考えを深める部分には課題がある。



(2) 単元観

本単元は、新学習指導要領で示された第4学年(3)自然災害から人々を守る活動について学習する単元である。過去発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり、地図や年表などの資料で調べたりして、まとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することが目標となっている。

本単元では、はじめに、西日本豪雨災害を取り上げ、災害の被害の様子から救助、復旧での関係機関の連携、次に備えた防災の活動、という順序で学習を進めていく。防災の活動の学習では、初めに施設面での備えや災害情報の伝達などについての取組など、公助としての活動、そして自主防災組織などの共助、さらには自助について学んでいく。最後に、学習したことを生かして、自分たちができることを考え、表現していく活動をする。公助、共助に支えられている中で、地域の一員として日常からの自助の意識に対する意欲を高めることができる単元であると考えられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、児童が主体的に社会科学習に臨み、公助、共助に支えられている中で、地域の一員として日常からの自助の意識に対する意欲を高めることができるよう、以下のことを大切に指導したい。

- ①水害の危険時や発生時の町の取組について坂町環境防災課の方に話を聞いたり、地域の防災について地域の方に話を聞いたりする場を設定することにより、主体的に学習問題を解決しようという意欲を高めていきたい。
- ②ミライシードを活用して発表したり、話し合いを行ったりすることで、自分の意見をもちにくい児童も、友達の考えを参考にしたり、考えの共通点や違いを見付けたりさせたい。
- ③坂町や地域の方が防災に取り組んでいる事例を学ぶ中から、自分たちも災害に備える意識をもつことの重要性に気付かせ、自然災害からわたしたちのくらしを守るためには、公助だけではなく、自助や共助の重要性も考えさせていきたい。そして、単元の終わりには、学習したことを基にして、防災に対する自分の意識や課題、改善策などをもてるようにする。そして、社会への関心、地域社会の一員であることの自覚を高められるようにしたい。

4 単元目標

- 自然災害に対して、関係機関が協力して人々を守る活動をしていることを捉え、坂町の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。
- 自然災害から人々を守る関係機関や人々の活動について、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、学んだことを基に自然災害から自身の安全を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①過去に発生した自然災害や、災害時の対処の様子、今後起こり得る自然災害への備えなどを基に、過去から自然災害について様々な人たちが協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対して様々な備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害の対処の様子と自然災害に対するそなえを関連付けて、自然災害において関係諸機関が協力して人々の安全を守る取組を行っていることについて文章などで表現したり、根拠を示して話し合ったりしている。	①過去における自然災害の発生や自然災害から人々を守る活動に関心をもち、予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。
②過去に発生した自然災害や、災害時の対処の様子、今後起こり得る自然災害への備えなどを、各種資料から調べ、情報をまとめている。	②学習したことを基に地域で起こりうる災害を想定し、日頃からの備えをするなど、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりしようとしている。	②過去の自然災害や、人々の安全を守る取組について学んだことを基に、地域社会の一員として、地域の人々を守る取組や、関係機関や地域の人々に協力しようとしている。

6 他教科等との関連

国語科	社会科	理科	特別な教科道徳	総合的な学習の時間
もしものときにそなえよう	水はどこからごみのしよりと利用	雨水のゆくえと地面のようす	紙しばいをつくって発表しよう 「もっこ」をせおつて	小屋浦の安全守り隊

7 指導と評価の計画 (全 8時間 本時 2/8時間)

過程	ねらい	主な学習内容	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	<p>○広島県でこれまでに起こった自然災害について調べ、広島県各地で繰り返し様々な自然災害が発生していることを捉えることができる。</p>	<p>①自然災害の種類を知り、広島県内の過去の自然災害を調べることを通して、自分の生活との関わりについて気付く。</p> <div data-bbox="485 331 1090 430" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>広島県では、どのような自然災害が起きてきたのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県では、様々な災害が繰り返し起きている。 ・広島県の各地で自然災害は起きている。 ・3年前には大きな洪水も起きた。 <div data-bbox="485 568 1090 739" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>広島県では、さまざまな自然災害が起きてきた。 何度も起こる自然災害をどう乗り越えてきたのだろう。</p> </div>	<p>■年表と地図を見て気付いたことについてムーブノートを使って交流させる。</p> <p>□広島県内でこれまで発生した自然災害や被害の様子について知り、自然災害がわたしたちの暮らしに様々な影響を与えていることを考えている。【思・判・表①】(ムーブノート・発言)</p> <p>☆広島県の自然災害の様子(写真) ☆広島県の自然災害の年表(年表) ☆広島県の自然災害マップ(地図)</p>
	<p>○西日本豪雨の様子や被害状況について調べ、自然災害から人々を守る活動や対策について調べる学習問題を設定することができる。 (本時)</p>	<p>②豪雨災害時の坂町の様子や被害状況について調べ、自然災害時に人々の安全を守る活動について調べる学習計画を立てる。</p> <div data-bbox="485 887 1090 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>豪雨災害時の坂町の様子を調べ、学習問題をつくろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・消防や警察・自衛隊の人が助けてくれた。 ・大阪の消防署の人が来ているよ。 ・他にどんな人が働いているのかな。 ・どうやって集まったのかな。 ・救助するための情報は、どうやって分かるのかな。 <div data-bbox="485 1214 1090 1447" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな人が、どのようなことをしたのだろうか。 ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな仕組みがあるのだろうか。 </div>	<p>■気付いたことについてムーブノートを使って交流させる。</p> <p>■被害への意識だけでなく、対処や備えに意識が向くよう声をかける。</p> <p>■様子をみて、人への意識を向けさせる声をかける。</p> <p>□広島県で起きた自然災害について調べ、災害から人々を守る活動の様子について理解している。【思・判・表②】(ムーブノート・発言)</p> <p>□自然災害から人々を守る活動について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。【態度①】(ムーブノート・発言)</p> <p>☆土砂災害や人々の様子(写真)</p>
社会認識を育てる場	<p>○豪雨災害が発生した時、人々を守るために誰がどのような活動をしているかを理解することができる。</p>	<p>③豪雨災害が起きた時、だれが、どのように救助をしたのか調べる。</p> <div data-bbox="485 1550 1090 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>豪雨災害が起きた時、だれが、どのようなことをしたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人も協力して声を掛け合い避難した。 ・避難所が開設された。 ・消防署・警察署の人が避難を手伝ってくれた。 ・消防や警察、消防団の人たちも現場で救助を行った。 ・消防団の人も、避難を手伝った。 ・ナフコに避難させてもらった。 <div data-bbox="485 1953 1090 2069" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の人たちや警察、消防の人たちが協力して救助を行い、多くの命が助かった。</p> </div>	<p>■分かったこと、気付いたことについてムーブノートを使って交流させる。</p> <p>■人々(誰が)と行動(どのように)を明確にして資料を読み取るように伝える。</p> <p>■救助した人々の考えや思いを考えさせる。</p> <p>□過去に発生した自然災害や、災害時の対処の様子を各種資料から調べ、情報をまとめている。【知・技-②】(ムーブノート・発言)</p> <p>☆警察や消防・自衛隊が救助している様子(写真) ☆坂町環境防災課の方の話(文)</p>

	<p>○豪雨災害が発生した時、地域の関係機関や人々が、様々な協力をして対処していることを理解することができる。</p>	<p>④豪雨災害が起きた時の関係機関のはたらきや連携について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>豪雨災害が起きた時、どのように救助が進んでいったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・坂町対策本部が作られた。 ・町から県へ被害状況を伝え、広島県が自衛隊を要請した。 ・呼びかけによって、ボランティアの人が全国から来た。 ・発電所や水道局も早く使えるように復旧を急いだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自然災害が発生すると、各機関が役割を分担したり、協力したりする仕組みができていて、それに従って救助が進んだ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■分かったこと、気付いたことについてムーブノートを使って交流させる。 ■人々（誰が）と行動（どのように）を明確にして資料を読み取るように伝える。 ■救助した人々の考えや思いを考えさせる。 <p>□過去に発生した自然災害や、災害時の対処の様子を各種資料から調べ、情報をまとめている。【知・技-②】（ムーブノート・発言）</p> <p>☆対策本部や災害時の連携図 ☆坂町環境防災課の方の話（文）</p>
	<p>○今後想定される豪雨被害に備えて、どのような施設や事業などの対策をしているのか理解することができる。</p>	<p>⑤⑥水害に備えて行っていることを資料から調べ、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今後起こるであろう水害にそなえ、どのようなことをしているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水をスムーズにするために護岸工事をしている。 ・災害に強い水道管にしている。 ・砂防ダムを作っている。 ・広島県が作成している土砂災害警戒区域のマップを基に、ハザードマップを作っている。 ・緊急時にどうすれば良いかマニュアル（坂町地域防災計画）を作っている。 ・災害が起こった時のために、避難訓練をしている。 ・防災士の資格を取った人がいる。 ・地域の危険箇所を調べている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>災害からくらしを守るために、広島県や坂町・地域の方は、連携や協力をして災害に備えている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■分かったこと、気付いたことについてムーブノートを使って交流させる。 ■資料から得た事実（分かったこと）と資料から得た事実をもとに自分が考えたこと（考えたこと）を区別してまとめさせる。 <p>□過去に発生した自然災害や、災害時の対処の様子を各種資料から調べ、情報をまとめている。【知・技-②】（ムーブノート・発言）</p> <p>☆砂防ダムや護岸の工事の様子（写真） ☆坂町ハザードマップ（地図） ☆坂町環境防災課の方の話（文） ☆地域の方の話（文） ☆避難訓練などの様子（写真）</p>
<p>実践的な力を育てる場</p>	<p>いかす</p> <p>○学習を振り返り、学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>⑦今まで学習したことを基に、豪雨災害による被害を減らすために、関係諸機関の活動と人々の生活について考え、文章などで表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題に対する自分の考えを書こう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が発生した時に、人々の安全を守るためにどんな人が、どのようなことをしたのだろうか。 ・坂町では、これからの災害に備えてどのようなまちづくりをしているのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が起きた時に、人々は協力して被災した人たちの安心や安全を守っている。 ・坂町は多くの人の安全を守るために、様々な情報をいろいろな形で提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ムーブノートを使って意見の交流をさせる。 ■ムーブノートにまとめたことを振り返るように声をかける。 ■今までに書いた学習のまとめをもう一度見返すように声をかける。 <p>□過去から自然災害について様々な人たちが協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対して様々な備えをしていることを理解している。【知・技-①】（ムーブノート・発言）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・小屋浦では、避難訓練や防災士の育成など、地域の人たちで協力し合い、人々の安全や安心を守るために様々な備えをしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自然災害が起きたときに関係機関が協力して救助や支援、復旧作業などを行った。 坂町ではこれからの災害に備えて、被害をへらすための施設をつくったり、素早く避難できるように連絡する仕組みを整えたりしている。また、自分たちで命を守るための取組も行っている。</p> </div>	<p>□地域の自然災害の対処の様子と自然災害に対する備えを関連付けて、自然災害において関係諸機関が協力して人々の安全を守る取組を行っていることについて文章などで表現したり、根拠を示して話し合ったりしている。【思・判・表①】(ムーブノート・発言)</p>
<p>○自然災害が起きた時の問題点や自分たちにできることを話し合い、自分の考えをまとめる。</p>	<p>⑧大きな自然災害に備えて、自分たちにできることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>災害に備えて、自分たちにできることは何だろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ災害が起こって避難するか分からない。だから防災グッズは家の入り口に近くて分かりやすい所に置こう。 ・家族に避難所の場所を教えてあげよう。なぜなら、避難することで命が助かるから。そして、避難所訓練に参加して安心して避難できるようにしたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分たちができることに取り組み、これから起こる災害を乗り越えていきたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ムーブノートを使って意見の交流をさせる。 ■新しい案を出すのではなく、学習した内容を根拠に意見を考えられるようにする。 <p>□過去の自然災害や、人々の安全を守る取組について学んだことを基に、地域社会の一員として、関係機関や地域の人々を守る活動に協力しようとしている。【態度②】(ムーブノート・発言)</p> <p>□学習したことを基に地域で起こりうる災害を想定し、日頃からの備えをするなど、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりしようとしている。【思・判・表②】(ムーブノート・発言)</p>	

8 本時の学習

(1) 本時の目標

西日本豪雨の様子や被害状況について調べ、自然災害から人々を守る活動や対策について調べる学習問題を設定することができる。

(2) 本時の展開 (本時 2 / 8)

	学習活動	指導上の留意事項 (・) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 (評価方法)
導入	1 学習の見通しをもつ。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ㊦ 豪雨災害時の坂町の様子を調べ、学習問題をつくろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 西日本豪雨災害について学習することを知らせる。 「西日本豪雨災害の様子 (写真)」や「人々の様子 (写真)」を見て災害当時のことを思い出させる。 	
展開	3 豪雨災害時や避難所の写真、統計資料から被害の様子を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> たくさんの人が亡くなった。 多くの建物が被害を受けた。 家が壊れて住むところがない。 道路が壊れて、買い物や学校に行くのに困った。 たくさんの人が救助に参加している。 4 災害が起こった後の様子を調べ、気付いたことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 警察や消防の人が救助をしている。 自衛隊の人が来ている。 広島県だけでなく、ほかの県から消防署の人が来ている。 消防団の人も助けてくれた。 学校が避難所になった。 5 「なぜだろう」「不思議だ」「詳しく調べてみたい」などと思うことを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> なぜ、他の県からも消防署の人が来ているのかな。 他の県からも来ているのかな。 誰が自衛隊に連絡したのだろう。 消防や自衛隊の他にどんな人が働いているのかな。 どうやって集まったのかな。 救助するための情報は、どうやって分かるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害を写真や数字で確かめることで、改めて被害の大きさをとらえさせる。また、家と道路の破損により、生活上でどのような困難があったのかを確かめる。 カードに気付いたことを書かせ、交流させる。 被害への意識から、救助してくれている人へと意識を向けさせる。 ◆どんな人が助けてくれているかに注目させる。 ◆写真の一部を拡大したヒントカードを渡し、注目するところを絞らせる。 自分の考えをムーブノートを使って交流させる。 ◆気付いたことを基に疑問を考えさせる。 	○ 豪雨災害について調べ、災害から人々を守る活動の様子について理解している。【思・判・表②】(ムーブノート・発言)

まとめ・振り返り	6	<p>どんなことを調べていきたいのか話し合い、単元の学習問題を作る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな人が、どのようなことをしたのだろうか。 ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな仕組みがあるのだろうか。 ・坂町では、これからの災害に備えてどのようなまちづくりをしているのだろうか。 ・災害に備えて、自分たちにできることは何だろうか。 </div>	○自然災害から人々を守る活動について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 【態度①】(ムーブノート・発言)
		<ul style="list-style-type: none"> ・まとめから単元を貫く問いを意識させる。 	
	7	<p>本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>自他を意識した振り返り</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【振り返り例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害の被害の大きさが改めて分かりました。救助にたくさんの方が来ていたけど、どうして来てくれたのかを知りたいです。 ・〇〇君が、広島県で起きた災害なのに、ほかの県の消防隊が来ているのは不思議というのはなるほどと思いました。 </div>	
8	<p>次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害が起きた時、だれが、どのように救助をしたのか調べることを伝え、見通しをもたせる。 	

9 準備物

西日本豪雨災害の様子(写真), 人々の様子(写真), パソコン(児童用)

10 板書計画

平成30年西日本豪雨

豪雨災害の時の様子から学習問題を作ろう。

がれきの山	水びたし	警察や消防	自衛隊
通れない	被害の写真	救助の写真	他の県の消防署の人
住めない	被害の写真	救助の写真	消防団
がれきの山			
買い物や仕事に行けない	食料×生活用品×	ボランティアの人	

- ・なぜ大阪の消防署の人が来ているのかな。
- ・他にどんな人が働いているのかな。
- ・どうやって集まったのかな。
- ・救助するための情報は、どうやって分かるのかな。

学習問題

- ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな人が、どのようなことをしたのだろうか。
- ・自然災害から人々の安全を守るために、どんな仕組みがあるのだろうか。

くらしに大きなえいきょう